

## 県民の皆様へのメッセージ

- 本日、新型コロナウイルス感染症患者の発生につきまして、県内で新たに10名の方の感染が確認をされました。
- 地域といたしましては、高知市内が8名、幡多福祉保健所管内が2名という内訳でございます。このうち4名の方が、過去に判明いたしました患者さんの濃厚接触者ということでございますし、1名の方は、高知医療センターの感染症病棟の担当の看護師ということでございまして、高知医療センターでは、感染症の対応業務におきます院内感染と判断をされております。そういう意味で、感染経路は特定されているということでございますので、10名の方のうち5名が、感染経路が判明をしている方々、残る5名が、感染経路不明の方々というような内訳になっているところでございます。

詳細につきましては、後ほど、高知市長からの会見の中でご説明をさせていただくということで、よろしくお願いいたします。

- 今回の10名の感染者のうち、お1人は高知医療センターの感染症病棟の担当看護師でございます。最前線で新型コロナ感染症対策にあたってこられた医療従事者の方、看護師の方が感染に至ったということは非常に残念であります。痛恨の極みだと思っております。
- 一方、高知医療センターといたしましては、この病棟に従事する看護師等は全て、言わば専任でありまして、他の業務と兼務をしているということはないということでございますし、また、既に濃厚接触者と考えられます看護師等は、業務から外しておられるということでございますので、高知医療センターにおきます一般外来の患者の方、あるいは他の入院患者の方に感染が広がる恐れはないと考えておりますので、この点を特に、私からも申し上げさせていただきます。

また、感染症病棟の勤務から外れる看護師が増えることで、スタッフは減少するという形になりますが、その部分は他の病棟などの看護師の応援でカバーできると聞いておりますので、その意味で、感染者の方々への医療に混乱は生じない、そこは大丈夫である

というふうに考えておりますので、この点も申し添えさせていただきたいと思っております。

○ 高知医療センターは、県中央部の感染症対策医療の中核的な医療機関でございます。引き続き、新型コロナ感染症対策に頑張ってくださいたいと思っておりますし、また、同センターを始めとして、患者を受け入れていただいております医療機関の皆様には、引き続きのご尽力をお願いしたいと、改めてお願いを申し上げたいと思っております。

○ 併せて、県民の皆様にもお願いがございます。こうした医療機関のスタッフの方々に、是非、県民の方々から「頑張ってください」というエールをお送りいただきたい。間違っても、患者の方々、医療関係者の方々、ご家族に誹謗・中傷といったような形で理不尽な仕打ちを行うということがないように、是非、この点は私からお願いをしたいと思っております。

○ 併せまして、本日確認されました10名の感染者のうち、別のお1人は、高知市内の保育所に勤務をいたします保育士がおられます。この詳細につきまして、状況がどうであるとか、その保育園の対応をどうするということにつきましては、行政上の所管が高知市になりますので、後ほど高知市長からご報告があるとお聞きをしております。

県といたしましても、園児等にまで感染が拡大をした場合に備えまして、検査でございますとか、医療の受入体制につきまして、県としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと思っております。

以上が、本日確認されました10名の感染者の方々に関する概要でございます。

○ 以下、本日新たに10名、うち5名は感染経路不明という形で新たな感染者が判明したことに関しましての私の受け止めと、改めての県民の皆様へのお願いについて、お話をさせていただきます。

- この1週間の新たな感染者は、本日の10名を含めると28名ということになります。その1週間前の1週間が9名でございましたので、3倍以上の感染者数となっておりまして、感染拡大が加速的に進んでいるというふうに考えざるを得ない状況でございます。
- こうした状況を考えますと、高知県の現状は「緊急事態宣言の対象地域となる一步手前の状況」だというふうに考えざるを得ないと思います。これは、県の感染症対策協議会の吉川会長とも認識を同じくしているところでございます。
- 今後、さらに感染の拡大が続いて、緊急事態宣言の対象地域に陥るということは、なんとしても避けたい、防ぎたいと考えます。その意味で、今までよりもさらに強力な感染拡大防止対策をとっていく必要がございます。
- そのポイントは、人と人との接触の機会をできるだけ減らしていく対策ということになります。具体的なお願いとして、何点かに渡りますけれども、県民の皆様に変更して以下の点をお願いしたいと思います。
- 大きな1点目が、当面、26日までの概ね2週間、昼間も含めまして、不要不急の外出は自粛をしていただきたいということでございます。既に、夜間の外出、特に「3密」の場面への外出は控えていただきたいとお願いをいたしましたけれども、昼夜を問わず、不要不急の外出は自粛をお願いしたいということでございます。  
不要不急の外出の自粛ということでございますので、例えば生活必需品の買い出しですとか、やむを得ない仕事ですとか、そういった形での外出については、これは致し方ないと考えております。そうした中で、引き続き、夜の街への外出の自粛ということをお願いしたいと思いますし、昼間も含めまして、いわゆる「3密」(密閉、密集、密接)が濃厚に重なる場所は極力避けていただくということ、そして、密接な場面での会話を避けていただくということ、かねてお願いしている中身でございますけれども、改めまして、この徹底をお願いしたいと思います。

- 大きな2点目といたしまして、当面の間、1つは集会ですとか、人がたくさん集まるイベント等につきまして、主催者の方には中止・延期を検討いただきたいと思いますし、県民の皆様には、参加を差し控えるようにご協力をお願いしたいということ、そして、いわゆる会食につきましても、家族以外で会食をするということは避けていただきたいと思います。また、かねてお願いしております、感染拡大地域との往来を控えていただくということ、また、緊急事態宣言の対象地域から本県に入って来られる方につきましても、2週間程度、不要不急の外出は自粛していただきまして、健康観察もお願いすると、こうしたお願いにつきましても、吉川会長とも認識は合わせていただいたところでございます。

特に、市町村名で申しますと、先月末からの第2波の（感染）拡大は、県内でも高知市と宿毛市の2つのエリアに集中しております。その意味で、この2つの市にお住まいの方、あるいは通勤・通学で通われるような方に関しましては、外出の自粛の要請、あるいはイベント・集会等への参加の自粛のお願いについて、より強くお願いをいたしたいと思っております。どうかご協力をよろしくをお願いいたします。

- また、医療の提供体制について申し上げます。本日は10名の方が新たに感染が確認されたということでございまして、うち8名が高知市のエリアということでございます。この入院治療をする体制が、特に県の中央部におきまして、逼迫の度合いを強めているということだと思っております。今回の10名の方々につきましても、感染症の指定医療機関である高知医療センター、あるいは幡多けんみん病院におきまして、いろいろなやりくりをしていただきながら、受け入れをさせていただくということでもありますけれども、今後さらに、公立・公的病院につきましても患者の受け入れを要請いたしますとともに、医療機関以外の一般的な宿泊施設においても受入体制を整えていくということの調整を急がなければならないと認識しております。

このため、週明けには、一般の宿泊施設で受け入れが開始できるように、関係者との調整を進めるように、関連の部局に指示をしているところでございます。

- 全体を通じまして、県民の皆様にご改めをお願いしたいことがございます。先月末からの県内におきます第2波の感染拡大におきましては、第1波の感染と比べまして、若い方々の感染の事例が増えているという特色が認められます。

若い方々は、体力もあり、免疫力も高いというのが一般的な傾向でございますので、感染をしているのに自覚が無いまま、他の方へうつしてしまっているというケースが高いのではないかとということも、一般的に指摘をされているところでございます。

その意味で、特に若い方々を中心に、しかし若い方々に限らず、私自身もそういう意味で、本日もあえてマスクをしてお話をさせていただいておりますけれども、自分自身も既に、もしかしたら感染をしまっているのかもしれないということを想定して、他の方へうつさないように、マスクの着用ですとか、最大限の努力を自分自身でしていくという態度で是非臨んでください。今までの感染予防の行動を、そういった行動ができておられない方については、行動を変えていくということにご協力をいただきたいと思います。

- 自分自身を守るため、そして大事な家族を守っていくため、そしてふるさとの高知を守っていくために、是非、県民の皆様にご協力をお願いしたいと思います。どうかよろしくお願いたします。

令和2年4月9日

高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長  
(知事) 濱田 省司